

琉球大学学術リポジトリ

薬用植物資源データベースについて

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 照屋, 正映, 市場, 俊雄, 豊川, 哲也, 鎌田, 靖弘, 喜屋武, 裕子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002016686

薬用植物資源データベースについて

沖縄県工業技術センター

○照屋 正映、市場 俊雄、豊川 哲也、鎌田 靖弘、喜屋武裕子

【目的】

沖縄には伝承的に効能が謳われている薬草類が豊富に存在しているが、これら薬草類を健康食品などの原料として用いるとき、伝承的な効能に加えて科学的根拠を付与することができれば、その付加価値は大きく増加すると考えられる。しかし、沖縄の薬草について、伝承的な効能などに関してはいくらかの成書が出版されているが、有効成分などの科学的な情報に特化した情報源はほとんどなく、また体系的に調査、整理されていないのが現状である。

本事業では、沖縄の薬草に関する情報を収集・整理し、『沖縄薬草データベース』としてデータベースを構築し県内の健康食品業界等へ情報提供することにより、沖縄の薬草資源の有効利用、そしてそれらを原料、製品として提供していく企業の創出、振興を目的とした。



【方法】

(1) 生物情報

学名、特徴、方言名、生薬名等については『世界有用生物事典』『原色牧野和漢薬草大図鑑』『沖縄の薬草百科』『日本薬草全書』を参考に、また薬草の写真画像については(有)仲善薬草農場の協力を得て収集した。

(2) 化学情報

先に調査した薬草の学名をキーワードとして、『Dictionary of Natural Products』を用いて各薬草に関連する化合物を検索し、『CS ChemDraw』を用いて化学構造式を描画し、gifファイルとして保存・登録した。

(3) 論文情報

先に調査した薬草の学名をキーワードとして、『SciFinder』を用いて各薬草に関連する論文を検索し、論文タイトル等の情報の収集および論文の入手を行った。

【まとめ】

これまでに、約150種の薬草に関する種々の情報のデータベースへの登録が終了している。本事業は平成14年度が最終年度であり、本年度中にデータベースを工業技術センターホームページ上にて公開する予定である。